

新型コロナウイルス感染症患者（116例目）の発生について（第1報）

令和2年7月18日（土）、患者本人から、体調不良があり電話で医療機関に相談したところ、新型コロナウイルス感染症が疑われるためコールセンターに相談するよう指示された旨の連絡があり、本市衛生研究所で検査を実施したところ、7月19日（日）、陽性であることが確認された。

1 患者概要

- (1) 年代：10歳代
- (2) 性別：女性
- (3) 居住地：広島市
- (4) 職業：フリーター
- (5) 症状：発熱、咳、頭痛、関節痛、食欲不振

2 検査に至った経緯

- 7月17日（金） 37.3℃の微熱が出現
- 7月18日（土） 39℃台の発熱、咳、頭痛、関節痛、食欲不振が出現
A医療機関に電話で相談、医師が新型コロナウイルス感染症を疑い、コールセンターへの連絡を指示
本人から連絡を受けた同センターが保健センターへ連絡
保健センターが帰国者・接触者外来へ誘導し、検体を採取
- 7月19日（日） PCR検査の結果、新型コロナウイルス陽性と判明
- 7月20日（月） B医療機関へ入院

※ 本人からの申告によれば、発症前14日以内に海外への渡航歴及び県外への滞在歴はなく、外出時及び勤務時はマスクを着用していた。

3 今後の対応

- ・現在までに確認できた患者の行動歴をもとに、濃厚接触者あるいはその可能性のある者に対し、患者との接触状況や健康状態についての把握など、逐次、積極的疫学調査を実施しているところである。
- ・更に患者の詳細な行動歴の確認を行った上で積極的疫学調査を行い、その結果をもとに、当該濃厚接触者に対する健康観察（毎日の体温確認等）と、必要に応じてPCR検査を適切に実施することとしている。
- ・この調査により把握した感染拡大防止のために必要な情報は、速やかに市民に広く提供することとしている。